



平成19年3月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）

平成18年7月26日

上場会社名 **大同特殊鋼株式会社**

（コード番号：5471 東、名証第1部）

（URL <http://www.daido.co.jp/>）

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 小澤 正俊
責任者役職・氏名 総務部長 野村 敏夫

TEL：(052) 963-7501

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ①会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
 ②最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有
 特別退職金の計上区分の変更（別紙参照）
 ③連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有
 （内容）
 連結（新規） 1社（㈱ライフサポート）

2. 平成19年3月期第1四半期財務・業績の概況（平成18年4月1日～平成18年6月30日）

（1）経営成績（連結）の進捗状況（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第1四半期	123,415	7.9	9,037	46.4	9,574	37.6
18年3月期第1四半期	114,393	14.0	6,174	16.2	6,957	22.9
（参考）18年3月期	480,703		37,542		39,366	

	四半期（当期）純利益		1株当たり四半期（当期）純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益	
	百万円	%	円	銭	円	銭
19年3月期第1四半期	5,289	41.4	12	19	—	—
18年3月期第1四半期	3,740	43.0	8	62	—	—
（参考）18年3月期	21,196		48	19	—	—

（注）売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

（2）財政状態（連結）の変動状況

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
19年3月期第1四半期	476,928	190,783			36.5	401	19	
18年3月期第1四半期	441,109	146,781			33.3	338	14	
（参考）18年3月期	476,816	172,647			36.2	397	17	

（注）18年3月期第1四半期および18年3月期の数値につきましては、従来の「株主資本」を「純資産」の欄に、「株主資本比率」を「自己資本比率」の欄に、「1株当たり株主資本」を「1株当たり純資産」の欄に記載しております。

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第1四半期	5,957	△6,833	△643		12,578			
18年3月期第1四半期	△417	△3,124	2,480		15,116			
（参考）18年3月期	22,081	△13,579	△10,652		14,104			

[参考]平成19年3月期第1四半期の単独業績概況（平成18年4月1日～平成18年6月30日）

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第1四半期	76,514	4,313	5,720	4,260				
18年3月期第1四半期	69,140	1,723	2,876	2,036				
（参考）18年3月期	297,406	19,702	21,107	16,849				

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当連結会計年度の第1四半期（平成18年4月1日から平成18年6月30日まで）におけるわが国経済は、原油価格の高騰など先行きに懸念材料があるものの、着実に回復を続けました。内外の需要増加を背景にして生産は増加し、輸出も堅調でした。また、企業収益が高水準で推移する中、設備投資は増加しました。

特殊鋼業界の主要需要産業である自動車の販売台数は、国内については前年同期比減少しましたが、輸出については大幅に増加しました。それに伴い当社グループでも自動車関連事業を中心に高水準の生産を継続しております。また、その他の需要分野につきましても、自動車産業の好調および民間設備投資の増加傾向を受け、堅調に推移しました。

このような需要環境の中、当第1四半期の当社グループの売上高は1,234億15百万円と前年同期比90億21百万円の増収（前年同期比+7.9%）となりました。利益面では、ニッケル等合金鉄の原材料価格の高騰が引き続き収益を圧迫しましたが、販売価格是正と高収益品の拡販に努めた結果、経常利益は、95億74百万円と前年同期比26億16百万円の増益、当第1四半期の純利益は、52億89百万円と前年同期比15億48百万円の増益となりました。

セグメント（部門）別の状況は、以下のとおりです。

特殊鋼鋼材

特殊鋼鋼材の主要需要先である自動車産業については、国内販売は前年同期比約3%減少しましたが、輸出は、北米・アジア地域等の海外での販売好調を受け、完成車輸出は前年同期比約15%と大幅増加し、総生産台数は前年同期比約5%の増加となりました。それに伴い、自動車関連の売上数量は増加しましたが、東アジアでの工具鋼の在庫調整、輸出を中心とした磨棒鋼の受注減少を受け、売上数量合計では3.1%減少となりました。原材料は依然厳しい環境が続き、特にニッケルの高騰はステンレス鋼製品を中心にコストアップとなり、受注内容の見直しや価格改善、エキストラの拡大などの活動をさらに推し進めました。この結果、当部門の売上高は681億87百万円と前年同期比5.5%増加しました。

電子・磁性材料

帯鋼製品は、液晶テレビ等の需要増加を受けて堅調でした。磁石材料事業は、HDD関連およびFA関連向けの製品が好調に推移しました。また、薄膜・電子材料は、ターゲット材や新金属製品の拡販に努めました。加えて原材料の値上がりに対してニッケル合金は価格改善を進めました。この結果、当部門の売上高は144億41百万円と前年同期比13.9%増加しました。

自動車部品・産業機械部品

自動車部品関連は、熱間精密鍛造品が在庫調整等により数量は前年同期比マイナスしましたが、販売価格改善を進めたことにより売上高は増加しました。産業機械部品関連は、重電、船舶、航空機関連の旺盛な需要を受け、高水準の生産を継続しております。この結果、当部門の売上高は262億91百万円と前年同期比2.5%増加しました。

エンジニアリング

環境設備製品は、官公庁向けの受注減により前年同期比減少しましたが、工業炉製品は、自動車関連を中心とした堅調な設備投資に牽引され、多品種・小ロットに適したSTC炉や連続炉等の熱処理炉製品を中心に好調に推移しました。この結果、当部門の売上高は82億79百万円と前年同期比41.7%増加しました。

新素材

チタン製品は、医療用途やプラント用途を中心に需要が堅調でした。また、原材料の高騰に対しては引き続き販売価格改善に努めました。粉末製品は、自動車部品用の高機能素材を中心に好調に推移しました。この結果、当部門の売上高は28億71百万円と前年同期比26.8%増加しました。

流通・サービス

建材等の販売が減少しましたが、情報システム部門の売上が増加しました。この結果、当部門の売上高は33億44百万円と前年同期並でした。

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報]

当第1四半期の現金及び現金同等物は、前期末比15億25百万円減少し、125億78百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

税金等調整前四半期純利益の増加および運転資金の減少、賞与支給時期の変更などにより、営業活動による収入は前年同期比63億75百万円増加の59億57百万円となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

設備投資の拡大に伴う有形固定資産の取得増加および投資有価証券の取得増加により、投資活動による支出は前年同期比37億9百万円増加の68億33百万円となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

フリー・キャッシュ・フローの不足および配当金の支払を商業・ペーパーの発行および現金及び現金同等物の圧縮で充当した結果、財務活動による支出は6億43百万円となりました。

[参考]

平成19年3月期の連結業績予想（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	241,000	18,500	10,000
通期	494,000	43,500	24,500

（参考）1株当たり予想当期純利益（通期） 56円45銭

[業績予想に関する定性的情報等]

業績予想につきましては、第1四半期の業績が概ね当初予想どおり推移しているため、平成18年4月27日の決算発表時の業績予想から変更はありません。

なお、1株当たり予想当期純利益（通期）につきましては、当四半期末における普通株式の発行済株式数（連結）に基づいて算出しております。

（注）上記の予想につきましては、現状で判断しうる一定の前提、仮定に基づいております。今後発生する状況の変化によっては異なる業績結果となることも予想されますのでご了解下さい。

1. 連結財務諸表等

(1) セグメント別売上高

(単位：金額 百万円、増減率 %)

期別 セグメント別	当第1四半期 (自平成18年4月1日 至平成18年6月30日)	前第1四半期 (自平成17年4月1日 至平成17年6月30日)	増減		前連結会計年度 (自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)
	金額	金額	金額	率	金額
特殊鋼鋼材	68,187	64,617	3,570	5.5	265,628
電子・磁性材料	14,441	12,674	1,767	13.9	51,696
自動車部品・ 産業機械部品	26,291	25,649	641	2.5	104,091
エンジニアリング	8,279	5,842	2,436	41.7	33,892
新素材	2,871	2,265	606	26.8	11,499
流通・サービス	3,344	3,344	△ 0	△0.0	13,895
計	123,415	114,393	9,021	7.9	480,703

(2) 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第1四半期	前第1四半期	増 減	前連結会計年度
	(自平成18年4月1日 至平成18年6月30日)	(自平成17年4月1日 至平成17年6月30日)		(自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)
売 上 高	123,415	114,393	9,021	480,703
売 上 原 価	101,255	96,164	5,091	394,213
売 上 総 利 益	22,160	18,229	3,930	86,490
販売費及び一般管理費	13,122	12,055	1,066	48,947
営 業 利 益	9,037	6,174	2,863	37,542
営 業 外 収 益				
受取利息及び配当金	468	376	91	1,048
持分法による投資利益	595	554	41	2,330
そ の 他	366	468	△ 101	1,627
計	1,430	1,398	31	5,006
営 業 外 費 用				
支 払 利 息	402	425	△ 22	1,696
そ の 他	490	190	300	1,486
計	893	615	278	3,182
経 常 利 益	9,574	6,957	2,616	39,366
特 別 利 益				
貸倒引当金戻入額	98	41	57	100
固定資産売却益	43	—	43	24
投資有価証券売却益	—	18	△ 18	1,656
ゴルフ会員権売却益	—	13	△ 13	—
そ の 他	—	5	△ 5	188
計	141	78	63	1,970
特 別 損 失				
減 損 損 失	0	—	0	812
投資有価証券評価損	0	6	△ 5	50
特別退職金	—	356	△ 356	1,368
そ の 他	—	1	△ 1	671
計	1	363	△ 362	2,903
税金等調整前四半期 (当期)純利益	9,714	6,672	3,042	38,433
法人税、住民税及び事業税	1,135	1,132	3	15,269
法人税等調整額	2,665	1,081	1,584	△ 317
少数株主利益	623	717	△ 93	2,285
四半期(当期)純利益	5,289	3,740	1,548	21,196

(会計方針の変更)

出向者の転籍に伴う特別退職金は、従来、平成18年3月までの期限付制度として特別損失にて計上しておりましたが、当該制度が期限の定めのない制度として延長されることになったため、当連結会計年度より販売費及び一般管理費として計上する方法に変更いたしました。この変更により販売費及び一般管理費が440百万円増加し、営業利益および経常利益は同額減少しております。

(3) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第1四半期 (平成18年6月30日現在)	前連結会計年度 (平成18年3月31日現在)	増 減	前第1四半期 (平成17年6月30日現在)
(資産の部)	[476,928]	[476,816]	[111]	[441,109]
流動資産	<u>234,236</u>	<u>237,141</u>	<u>△ 2,905</u>	<u>220,090</u>
現金及び預金	12,698	14,823	△ 2,125	15,304
受取手形及び売掛金	118,864	120,752	△ 1,887	112,537
棚卸資産	95,091	92,316	2,774	84,559
繰延税金資産	3,373	5,697	△ 2,323	4,426
その他	5,085	4,523	561	4,253
貸倒引当金	△ 877	△ 971	94	△ 991
固定資産	<u>242,691</u>	<u>239,674</u>	<u>3,017</u>	<u>221,018</u>
有形固定資産	(154,863)	(153,209)	(1,654)	(151,532)
建物及び構築物	47,174	47,057	116	47,141
機械装置及び運搬具	69,462	68,066	1,395	67,234
土地	30,187	30,043	144	30,983
建設仮勘定	4,759	4,914	△ 155	3,202
その他	3,279	3,126	152	2,971
無形固定資産	(962)	(908)	(53)	(823)
投資その他の資産	(86,866)	(85,556)	(1,309)	(68,662)
投資有価証券	72,365	72,221	143	56,782
長期貸付金	469	283	186	304
繰延税金資産	1,248	1,184	64	1,128
その他	13,423	12,511	911	11,256
貸倒引当金	△ 641	△ 645	3	△ 810
資産合計	476,928	476,816	111	441,109

(単位：百万円)

科 目	当第1四半期	前連結会計年度	増 減	前第1四半期
	(平成18年6月30日現在)	(平成18年3月31日現在)		(平成17年6月30日現在)
(負債の部)	[286, 145]	[287, 648]	[△ 1, 503]	[279, 948]
流動負債	<u>191, 769</u>	<u>191, 384</u>	<u>384</u>	<u>180, 907</u>
支払手形及び買掛金	79, 882	77, 278	2, 604	80, 452
短期借入金	69, 748	72, 216	△ 2, 467	71, 988
一年内償還予定社債	—	—	—	3, 850
未払法人税等	1, 360	12, 578	△ 11, 217	1, 262
繰延税金負債	2	—	2	—
賞与引当金	3, 302	7, 063	△ 3, 760	2, 939
その他	37, 472	22, 248	15, 223	20, 413
固定負債	<u>94, 376</u>	<u>96, 264</u>	<u>△ 1, 888</u>	<u>99, 041</u>
社 債	20, 700	20, 700	—	20, 000
長期借入金	51, 364	52, 470	△ 1, 105	59, 529
繰延税金負債	11, 401	12, 042	△ 641	8, 272
再評価に係る繰延税金負債	1, 694	1, 694	—	1, 694
退職給付引当金	4, 296	4, 312	△ 15	4, 515
連結調整勘定	52	59	△ 7	93
その他	4, 866	4, 985	△ 118	4, 936
(純資産の部)	[190, 783]	[—]	[—]	[—]
株主資本	<u>155, 461</u>	<u>—</u>	<u>—</u>	<u>—</u>
資 本 金	37, 172	—	—	—
資本剰余金	28, 549	—	—	—
利益剰余金	89, 937	—	—	—
自己株式	△ 197	—	—	—
評価・換算差額等	<u>18, 646</u>	<u>—</u>	<u>—</u>	<u>—</u>
その他有価証券評価差額金	17, 090	—	—	—
繰延ヘッジ損益	3	—	—	—
土地再評価差額金	1, 356	—	—	—
為替換算調整勘定	195	—	—	—
少数株主持分	<u>16, 675</u>	<u>—</u>	<u>—</u>	<u>—</u>
負債純資産合計	476, 928	—	—	—
(少数株主持分)	[—]	[16, 520]	[—]	[14, 379]
少数株主持分	<u>—</u>	<u>16, 520</u>	<u>—</u>	<u>14, 379</u>
(資本の部)	[—]	[172, 647]	[—]	[146, 781]
資 本 金	<u>—</u>	<u>37, 172</u>	<u>—</u>	<u>37, 172</u>
資本剰余金	<u>—</u>	<u>28, 548</u>	<u>—</u>	<u>28, 541</u>
利益剰余金	<u>—</u>	<u>87, 047</u>	<u>—</u>	<u>70, 889</u>
その他有価証券評価差額金	<u>—</u>	<u>18, 548</u>	<u>—</u>	<u>9, 273</u>
土地再評価差額金	<u>—</u>	<u>1, 356</u>	<u>—</u>	<u>1, 356</u>
為替換算調整勘定	<u>—</u>	<u>152</u>	<u>—</u>	<u>△ 365</u>
自己株式	<u>—</u>	<u>△ 178</u>	<u>—</u>	<u>△ 87</u>
負債、少数株主持分及び資本合計	—	476, 816	—	441, 109

(4) 連結株主資本等変動計算書

当第1四半期（自平成18年4月1日 至平成18年6月30日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
前期末残高	37,172	28,548	87,047	△ 178	152,589
当第1四半期中の変動額					
剰余金の配当			△ 2,170		△ 2,170
役員賞与			△ 230		△ 230
四半期純利益			5,289		5,289
自己株式の取得				△ 19	△ 19
自己株式の処分		0		1	2
当第1四半期中の変動額合計	—	0	2,889	△ 18	2,871
当第1四半期末残高	37,172	28,549	89,937	△ 197	155,461

	評価・換算差額等					少数株主 持分	純資産合計
	その他有価 証券評価 差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
前期末残高	18,548	—	1,356	152	20,057	16,520	189,167
当第1四半期中の変動額							
株主資本以外の項目 の当第1四半期中の 変動額（純額）	△ 1,458	3	—	43	△ 1,411	155	1,615
当第1四半期中の変動額合計	△ 1,458	3	—	43	△ 1,411	155	1,615
当第1四半期末残高	17,090	3	1,356	195	18,646	16,675	190,783

(5) 連結剰余金計算書

（単位：百万円）

科 目	前第1四半期 （自平成17年4月1日 至平成17年6月30日）	前連結会計年度 （自平成17年4月1日 至平成18年3月31日）
	（資本剰余金の部）	
資本剰余金期首残高	28,541	28,541
資本剰余金増加高	0	7
自己株式処分差益	0	7
資本剰余金期末残高	28,541	28,548
（利益剰余金の部）		
利益剰余金期首残高	68,638	68,638
利益剰余金増加高	3,740	21,201
四半期（当期）純利益	3,740	21,196
連結子会社と非連結子会社の 合併に伴う増加高	—	5
利益剰余金減少高	1,489	2,792
配当金	1,302	2,605
役員賞与	187	187
利益剰余金期末残高	70,889	87,047

(6) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当第1四半期	前第1四半期	前連結会計年度
	(自平成18年4月1日) (至平成18年6月30日)	(自平成17年4月1日) (至平成17年6月30日)	(自平成17年4月1日) (至平成18年3月31日)
〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕			
税金等調整前四半期(当期)純利益	9,714	6,672	38,433
減価償却費	4,173	3,926	16,151
減損損失	0	—	812
貸倒引当金の増減額(減少:△)	△ 98	167	△ 9
賞与引当金の増減額(減少:△)	△ 3,760	△ 2,773	1,456
退職給付引当金の増減額(減少:△)	△ 15	36	82
受取利息及び受取配当金	△ 468	△ 376	△ 1,048
支払利息	402	425	1,696
為替差損益(差益:△)	28	△ 34	34
連結調整勘定償却額	△ 7	△ 11	△ 44
持分法による投資損益(利益:△)	△ 595	△ 554	△ 2,330
投資有価証券等売却損益(売却益:△)	△ 0	△ 32	△ 1,662
投資有価証券等評価損	0	7	111
有形固定資産売却損益(売却益:△)	△ 46	△ 0	16
有形固定資産除却損	243	181	1,156
売上債権の増減額(増加:△)	1,915	△ 203	△ 10,106
棚卸資産の増減額(増加:△)	△ 2,724	△ 5,683	△ 14,040
仕入債務の増減額(減少:△)	2,590	1,808	△ 505
その他の増減額	6,721	△ 145	△ 1,111
小 計	18,074	3,411	29,092
利息及び配当金の受取額	746	542	1,174
利息の支払額	△ 426	△ 357	△ 1,706
法人税等の支払額	△ 12,436	△ 4,014	△ 6,479
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,957	△ 417	22,081
〔投資活動によるキャッシュ・フロー〕			
定期預金の預入による支出	△ 0	—	△ 357
定期預金の払戻による収入	600	393	246
有形固定資産の取得による支出	△ 5,003	△ 3,655	△ 18,143
有形固定資産の売却による収入	138	44	267
投資有価証券の取得による支出	△ 2,524	△ 7	△ 731
投資有価証券の売却による収入	—	130	663
連結範囲の変更を伴う	—	—	5,513
子会社株式の売却による収入	—	—	—
貸付けによる支出	△ 243	△ 46	△ 200
貸付金の回収による収入	48	59	195
その他の収入又は支出(支出:△)	152	△ 43	△ 1,032
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,833	△ 3,124	△ 13,579
〔財務活動によるキャッシュ・フロー〕			
短期借入金の純増減額(減少:△)	△ 2,823	8,221	4,500
コマーシャル・ペーパーの純増減額(減少:△)	5,000	△ 2,000	△ 3,000
長期借入れによる収入	1,400	—	4,400
長期借入金の返済による支出	△ 2,160	△ 2,557	△ 10,173
社債の発行による収入	—	—	700
社債の償還による支出	—	—	△ 3,850
配当金の支払額	△ 1,826	△ 1,038	△ 2,597
少数株主への配当金の支払額	△ 215	△ 137	△ 538
その他の収入又は支出(支出:△)	△ 17	△ 6	△ 92
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 643	2,480	△ 10,652
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 26	43	109
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△ 1,545	△ 1,017	△ 2,041
現金及び現金同等物の期首残高	14,104	16,134	16,134
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	20	—	—
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	—	11
現金及び現金同等物の期末残高	12,578	15,116	14,104

2. セグメント情報

(1) 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期（自平成18年4月1日 至平成18年6月30日）

（単位：百万円）

	特殊鋼	電子・磁性材料	自動車部品・産業機械部品	エンジニアリング	新素材	流通・サービス	計	消去または全社	連結
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	68,187	14,441	26,291	8,279	2,871	3,344	123,415	—	123,415
(2)セグメント間の内部売上高 または振替高	7,574	163	6,661	276	201	2,225	17,102	(17,102)	—
計	75,761	14,605	32,952	8,556	3,073	5,570	140,518	(17,102)	123,415
営業費用	71,593	14,001	30,096	7,891	2,737	5,116	131,437	(17,059)	114,378
営業利益	4,167	603	2,856	664	335	453	9,081	△ 43	9,037

前第1四半期（自平成17年4月1日 至平成17年6月30日）

（単位：百万円）

	特殊鋼	電子・磁性材料	自動車部品・産業機械部品	エンジニアリング	新素材	流通・サービス	計	消去または全社	連結
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	64,617	12,674	25,649	5,842	2,265	3,344	114,393	—	114,393
(2)セグメント間の内部売上高 または振替高	5,897	237	4,696	102	256	2,294	13,485	(13,485)	—
計	70,514	12,912	30,346	5,945	2,522	5,638	127,879	(13,485)	114,393
営業費用	67,710	12,342	28,047	5,974	2,374	5,255	121,704	(13,484)	108,219
営業利益	2,804	569	2,299	△ 28	148	382	6,175	△ 1	6,174

前連結会計年度（自平成17年4月1日 至平成18年3月31日）

（単位：百万円）

	特殊鋼	電子・磁性材料	自動車部品・産業機械部品	エンジニアリング	新素材	流通・サービス	計	消去または全社	連結
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	265,628	51,696	104,091	33,892	11,499	13,895	480,703	—	480,703
(2)セグメント間の内部売上高 または振替高	24,846	746	19,950	2,254	1,077	9,637	58,512	(58,512)	—
計	290,474	52,442	124,041	36,147	12,576	23,533	539,216	(58,512)	480,703
営業費用	271,095	49,425	113,164	34,454	11,578	21,954	501,672	(58,511)	443,161
営業利益	19,379	3,016	10,877	1,693	997	1,579	37,543	△ 1	37,542

(注) 1. 事業区分の方法

当社グループの事業区分の方法は、事業内容別に6部門にセグメンテーションしております。

2. 各区分に属する主要な事業内容

事業区分	主要な事業内容
特殊鋼鋼材	・自動車、産業機械および電気機械向け部品材料、建設用材料、溶接用材料 ・特殊鋼鋼材加工、流通 ・原材料販売 ・運輸、物流
電子・磁性材料	・高合金製品、電気・電子部品用材料、磁材製品（OA・FA用モーター、自動車用モーター・センサ、計測機器用部品等）
自動車部品・産業機械部品	・型鍛造品、熱間精密鍛造品および鋼機製品（自動車・ベアリング向け部品等） ・自由鍛造品（船舶・産業機械・電機・鉄鋼・化工機・石油掘削用部品、宇宙・航空機用部品等） ・鋳鋼品（鉄道用マシナリール、自動車・産業機械・電機・各種炉用部品、高級鋳鋼品等） ・精密鋳造品（自動車・産業機械・電機・通信機器用部品、チタンゴルフヘッド等） ・製材用帯鋸 ・エンジンバルブ ・圧縮機器、油圧機器、工作機械部品
エンジニアリング	・鉄鋼設備、各種工業炉ならびにその付帯設備、環境関連設備（排水・排ガス・廃棄物等の処理設備）、工作機械等 ・機械設備の保守管理
新素材	・粉末製品、チタン材料製品、形状記憶合金他 ・開発製品
流通・サービス	・グループ会社製品の販売、福利厚生サービス、不動産・保険事業 ・ゴルフ場経営 ・分析事業、ソト外販事業

(2) 所在地別セグメント情報

全セグメントの売上高の合計および全セグメントの資産の合計に占める「本邦」の割合が、いずれも90%を超えているため、開示を省略しております。

(3) 海外売上高

当第1四半期（自平成18年4月1日 至平成18年6月30日）

（単位：百万円）

	北米	アジア	その他	計
I. 海外売上高	4,170	10,526	1,308	16,005
II. 連結売上高	—	—	—	123,415
III. 連結売上高に占める海外売上高の割合	3.4 %	8.5 %	1.1 %	13.0 %

前第1四半期（自平成17年4月1日 至平成17年6月30日）

（単位：百万円）

	北米	アジア	その他	計
I. 海外売上高	3,163	9,871	714	13,749
II. 連結売上高	—	—	—	114,393
III. 連結売上高に占める海外売上高の割合	2.8 %	8.6 %	0.6 %	12.0 %

前連結会計年度（自平成17年4月1日 至平成18年3月31日）

（単位：百万円）

	北米	アジア	その他	計
I. 海外売上高	14,324	43,314	3,875	61,514
II. 連結売上高	—	—	—	480,703
III. 連結売上高に占める海外売上高の割合	3.0 %	9.0 %	0.8 %	12.8 %

(注) 1. 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国または地域

(1) 北米……………アメリカ、カナダ

(2) アジア……………台湾、韓国、タイ、マレーシア、中国ほか

(3) その他の地域……………イタリア、イギリス、ドイツほか

3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。